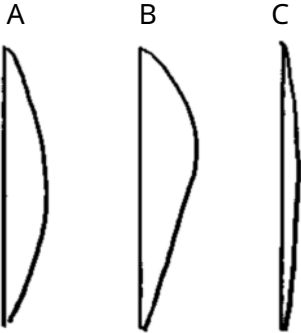


## どんなリーチ(カーブ)が いいの

セールの前端をラフ、後端をリーチと言います。このメインセールリーチを艇の後ろから見るといろいろな形(カーブ)になっているのが分かります。



クローズで走っている場合を想定してください。

セールのパワーは風が中央部を強く流れるときが最大に出ます。Aのリーチカーブを見ると、中央部がふくらんで(開いて)います。この部分を多量の風が流れていることが分かります。理想的なリーチカーブです。

Bは、リーチのふくらみが上に移動しています。これでは十分なパワーを引き出せません。ブームバングを引いてふくらみを下に移動させましょう。

Cは、セールカーブが直線的で、「リーチが閉じている」と言います。強風の場合はこれでも良いのですが、中風以下の場合はパワーが出ません。メインシートを少しゆるめるか、ブームバングをゆるめましょう。

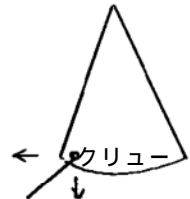
微風の場合には、リーチは少し閉じた方が風の流れがスムーズになります。メインセールにはリーチリボンがついているので、風がリーチのどの部分を流れているかの参考になります。

リーチカーブを調整する場合は、メインシート、ブームバング、フォアレキ、アフターレキなどで行います。リーチのカーブの状態を保ちながらブームの出し入れの調整をする場合には、メインシートトラベラーを使います。



ジブセールについてもメインセールと同様にリーチカーブを考える必要があります。ジブセールはジブシートリーダーを前後すると、フットとリーチのカーブを変えられます。

ジブシートリーダーを前に移動するとクリューの下向きの力が大きくなりリーチが閉じます。リーダーを後ろに移動するとクリュー後方への力が大きくなりリーチは開きます。(フットは閉じます)ジブセールの役目はメインセールに



効率的に風を流すことです。メインセールとの間隔が大切です。メインセールと平行になるようにリーチカーブをつくる必要があります。風の強弱に合わせてジブシートリーダーを前後させたり、ジブシートの引き具合を調整してみましょう。ジブセールのクリューからジブシートリーダーまでのジブシートに腰掛けているのを見ることがありますが、これはジブのリーチを閉じることになり、パワーダウンしてしまいます。くれぐれも注意しましょう。

他艇とクローズで走っていて、自艇が離されていく場合があります。この原因の多くはセールの調整にあります。今回のテーマ「メインセールのリーチカーブや、ジブセールのリーチカーブ」にも気を配って、いろいろ調整してみましょう。